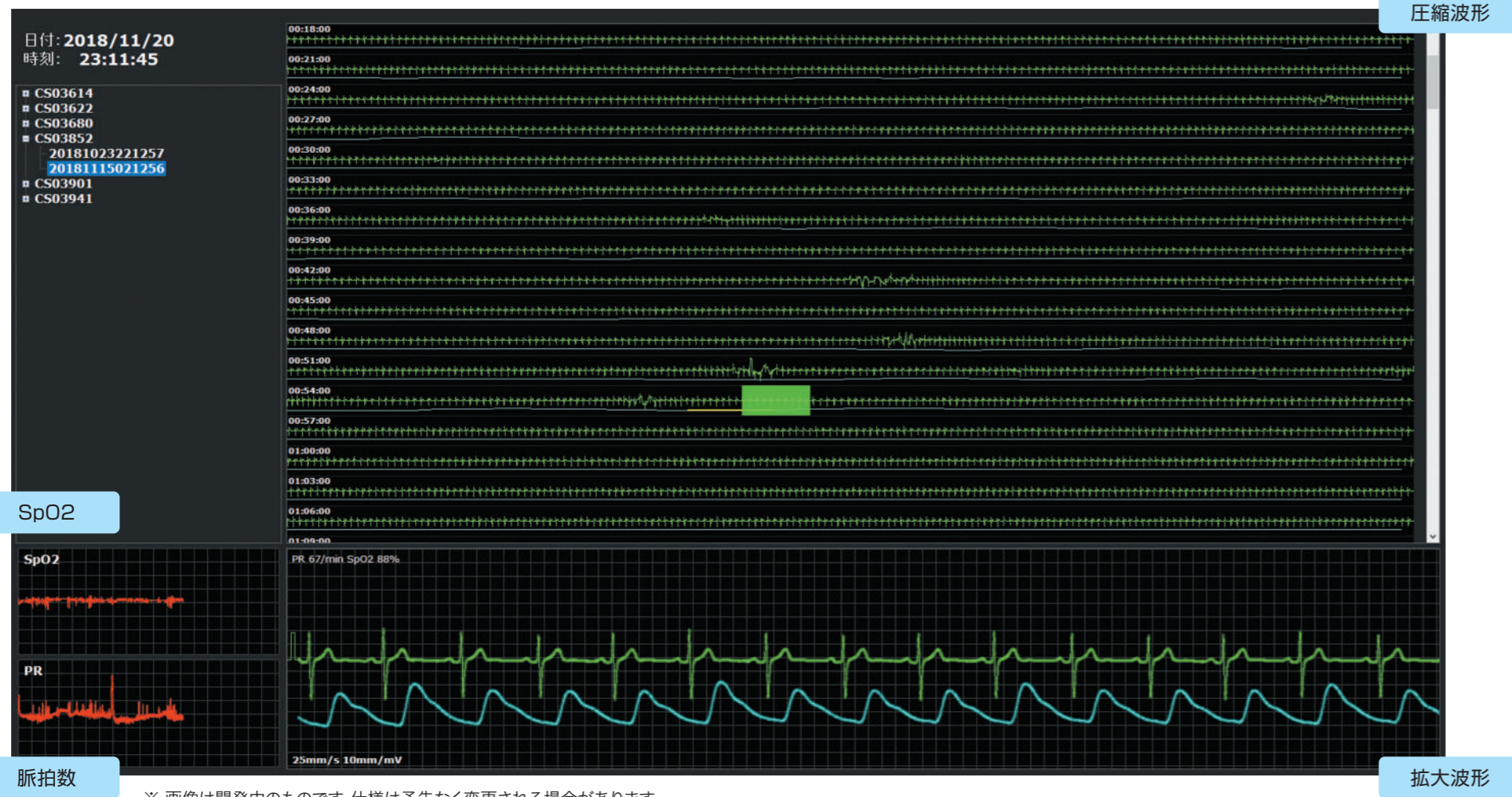


# 新機能「心電図+SpO2」8時間連続測定を搭載！

● チェックミープロBアドバンスで測定したデータをWindowsパソコンのアプリケーションで表示します。



※ 画像は開発中のものです。仕様は予告なく変更される場合があります。

## 今後のバージョンアップにも対応するアドバンスモデル。

「心電図+SpO2」8時間連続測定は、心電図とSpO2が同時にしかも長時間測定を可能にするアドバンスモデルにだけ搭載された新機能です。睡眠中など長時間の測定ができることで、短時間の測定では得られなかった様々な症状の早期発見にもつながる機能です。

さらに、アドバンスモデルは現在開発中のクラウドを使用した新機能にも対応可能となります。

※8時間連続記録には、別売の「心電オキシアダプタ」、「誘導コード」、「心電図用電極」、「パルスオキシメータプローブ」及び「アームバンド」が必要です。測定結果はWindowsアプリケーション(無料)にて表示を行います。(8時間心電図は本体では確認できません)

### 利用シーン例

#### 不整脈スクリーニング

#### 術後、院内での経過観察

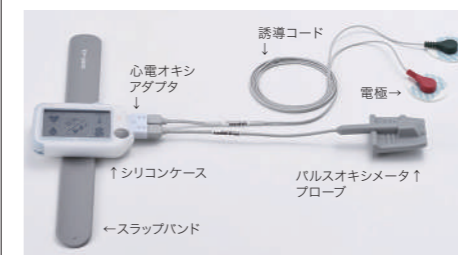
#### 自宅での経過観察

睡眠時の血中酸素濃度を測定し、睡眠状態をチェック

new 「心電図+SpO2」8時間連続測定

#### 1. 各機器の接続

チェックミープロBアドバンス本体に、心電オキシアダプタを装着し、誘導コードとパルスオキシメータプローブを接続します。

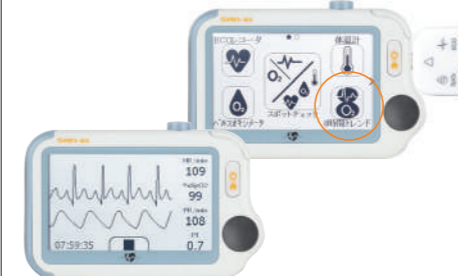


#### 2. ボディへの装着

心電図用電極をボディに貼り、スラップバンドを腕に装着します。



#### 3. 「8時間トレンド」を選択し記録を開始

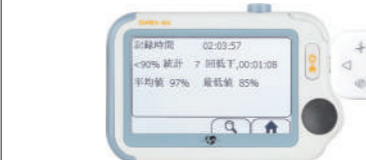


#### 4. 停止ボタンで測定結果を表示

停止ボタンを押すとSpO2測定結果を表示します。

- ・血中酸素濃度の低下の回数を表示します。
- ・通常、睡眠時は95%ほどですが、無呼吸状態になると90%以下になります。
- ・無呼吸状態の回数が多いと睡眠時無呼吸症候群\*の疑いがあります。

\*睡眠時無呼吸症候群とは？  
10秒以上の無呼吸が一晚(7時間の睡眠中)に30回以上、もしくは1時間あたり5回以上ある場合、睡眠時無呼吸症候群です。十分な睡眠が取れないため、日中の強い眠気やだるさ、疲労感を引き起こすことがあります。



#### 5. パソコンに接続し、データを転送します。

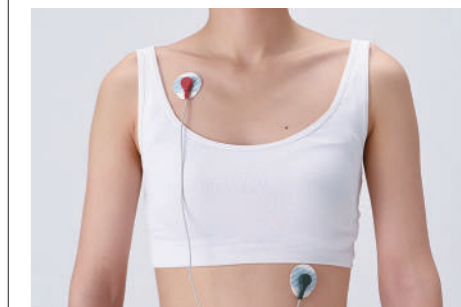


new ECGレコーダ 5分間モード

#### ECGレコーダに5分間モードを追加

測定時間は30秒、60秒、90秒の3つから選択できましたが、プロBアドバンスではそれらに加えて5分間モードを用意しました。

● 5分間モードは本体で心電図を確認することができます。



### update

#### スポットチェック

#### スポットチェックをより使いやすく

プロXやプロBスタンダードモデルでは、設定で切り替えることにより、デイリーチェックとスポットチェックのどちらかのみ使用可能でしたが、プロBアドバンスモデルではこれらを統合しました。スポットチェック内にECGとSpO2を同時に測定する機能を追加しています。

最大24名までユーザー登録が可能です。結果をユーザーごとに参照していただけます。



測定項目は、ECG+SpO2、ECG、SpO2、体温から選択します。測定項目を選択することで効率良く連続して測定ができます。

